校長室だより No.　9 平成 29 年 6 月 9 日(金)	強く　やさしく	六ツ美中部小学校校長 加　藤　嘉　一（かとう　よしかず）

【6月８日読書集会より】

読書の推進　ー学校診断アンケート結果から　今年の努力ー

梅雨の時期に入り、あじさい週間（読書週間８日～21 日）を始めます。図書委員会が８日（木）に、少しでも本に興味を持ってもらおうと、本の魅力の発表や推薦図書の紹介など、寸劇・クイズも入れながら工夫を凝らした集会を行ってくれました。図書委員会は今年読書郵便（校内にあるポストを利用し、お勧めの本を友達に手紙で伝える取組）もはじめて手がけてくれます。教員が説話をする以上に、子供が子供を動かす力は大きいといつも思います。

昨年の学校診断アンケート「進んで本を読んでいる」の項目で、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」の回答率は、子供が 65%、保護者が 50%弱（一昨年度よりは 7.2 ポイントアップ）でした。「整理整頓」の項目に次いで、回答率の低い項目です。自由記述欄でも４件「読書を勧めてほしい」とあり、以下のように回答させていただきました。

> ー<略>ー　本年度、教師による読み聞かせや図書委員会主催の集会、読書感想文・画の取り組みを行いました。また、地域教育ボランティア「るるの会」の方の御協力で、月に２回ほどの読み聞かせも行うことができています。さらに、図書室前の掲示コーナーを利用し、本に関心を持たせる掲示を用意したり、各教室で国語の授業に関する本を学習の時期に合わせ用意したりしています。社会や理科、総合の学習の時間などにも本を活用し、読み比べをしたり必要な情報を調べたりし、本に親しむ機会を作っています。今後も本のよさを勧め、読書指導を行っていきます。（H28 回答）

すでに、「るるの会」の方、教員の読み聞かせははじまっており楽しそうです。さらに図書室の前には、本のブックカバーをいくつも廊下に飾るなど、新たな工夫に取り組んでいます。読書への興味がさらに高まるよう努力していきます。

ちゅらぼ（地域教育ボランティア）今年もどうぞよろしく

本年度も地域教育ボランティア活動を推進しています。大人がいると充実する活動や、安全の確保をしたい活動等、「ちゅらぼだより」でボランティアを募集しお助けいただいているものです。「ちゅらぼ」という愛称は、創設当時に保護者から名前を募集し職員とともに決定しました。わたしとしては、地域の子供は地域で育てる社会・環境づくりと、学校を理解していただく開かれた

学校づくりをしたいという願いからはじめました。文科省が推進する「次世代の学校・地域」創生プランの趣旨にも沿うと考えています。（【参考】文科省ＨＰ「次世代の学校・地域」創生プラン）

【６月８日　５年裁縫補助】

２年前にこの仕組みを立ち上げてから、家庭科裁縫補助、学区探検引率補助、教室用カーテン製作など、さまざまな活動にたくさんの方が御参加くださいました。プール監視補助は、水泳授業の自由参観の機会にもなっています。自由参加の形で募集しているというものの、自分の時間を割いて助けに来ていただいており、御厚意に本当に恐縮しています。

この２年間、多くの方の御協力のおかげで、次のような成果がありました。とにかく御厚意に感謝です。プール監視補助が始まります。ぜひどうぞ。

【「ちゅらぼ」の成果】

①担任が二人しかいない学年体制であっても、学区探検が多くの見学場所にいけるなど、ダイナミックな活動が展開できる。

②今まで休み時間や居残りをしないと終わらないような裁縫の実習が、補助がいることで教員の指導内容が行き届き、子供の待つ時間がなくなり、活動の質と量が抜群に高まった。

③保護者と教員とのコミュニケーションをとる場面が増え、保護者のみなさんには学校の理解が深まり、教員としては、保護者の考え、感じ方について理解が深まるなど、相互の関係が密になった。

④保護者の声として、「学校に来やすくなった。」「家で子供から聞いている様子も、実際に見るとよくわかったり違っていたりし、安心できるようになった。」というものがあった。

⑤自分の家族以外の大人から教えてもらったり、ふれあってもらったりする機会となるので、子供が大人を信頼し、安心感をもつ姿が見られる。

【平成２９年度　水泳学習の時間割】

	月	火	水	木	金
第1時 8：45~9：30	3･4組5年				
第2時 9：40~10：25	3･4組5年	1年		5年	1年
第3時 10：40~11：25	1年	2年		2･4年	2年
第4時 11：35~12：20		4年		4年	
第5時 13：55~14：40	3年	6年	3年	3･4組6年	
第6時 14：50~15：35		6年	3年		